



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News Vol. 8
September 18, 2000

➤ Visiting Researchers の受け入れ

アジア防災センター（以下 ADRC）では、1999 年 8 月からメンバー国の防災関連部局からビジティングリサーチャーの受入を行っています。この制度は、メンバー国からの研究員に ADRC の仕事を理解してもらい、ともにセンターの業務を行い、さらに彼らの専門分野の知見を高めるための関係機関訪問などを通じて、メンバー国の防災対策強化に貢献することを目指しています。

これまでに、韓国、ベトナム、ネパールからの研究員受入れが終わり、現在スリランカ、バングラデシュの研究員と一緒に仕事をしています。本号では、スリランカからの研究員 Nimal Hettiarachchi 氏に、このシステムについてレポートしていただきました。なお、次号以降にも順次これまでの研究員からのレポートを掲載していく予定です。

□ Visiting Researchers プログラムについて



Nimal・D・Hettiarachchi

防災対策は、予測不能な自然災害や人災により大きな被害が起きているため、とくにアジア地域の国々にとっては、多岐にわたる関心の寄せられている比較的新しい分野です。この 20 年間に於いて、そうした惨禍を避け、

経済社会環境の発展を確固としたものにするには、非常に重要となってきています。

この点から、実効的・包括的な防災計画を策定し、緊急事態を指揮することのできる、十分に訓練を受け、経験豊富な災害担当官は、アジア地域のような災害に対して非常に脆弱である国々において貴重な人材となります。

ADRC によって行われている Visiting Researcher プログラムは、特徴あるプログラムで、首尾一貫した方向性を持って、災害担当官を研修するものとなっています。実際プログラムは、災害の根本原因をなくし、将来の防災計画構築に、多岐にわたる貢献しうる十分な訓練を受けた災害担当官を形成するように組まれています。またさらに、知識と技術を広げるため、災害による影響を抑えるための対応力を高めるための機会を提供しています。

このプログラムが他と決定的に違うのは、自らの経験と知識を共有する良い環境が整っており、ADRC や日本の災害関連の専門家と協力して仕事ができる点です。さらに研究員は災害対策分野での知識を広げるために、日本やア

ジアに起こる災害を基礎とした様々なリサーチを行う機会が与えられています。また、火山噴火、地震、洪水による浸水などによる災害を受けやすい地域などを視察することもできます。

とりわけ研究員は、ADRC が災害関連情報を集積し、普及させるために構築している情報技術に関する知識を習得することができます。加えて、日本にある政府や国際的な組織の行っているセミナーや会議に参加できることも利点です。

ADRC の Visiting Researcher プログラムは、アジア地域で長く必要とされてきた、災害対策活動を極めて効果的に行っていく経験と知識の豊富な災害担当官を形成することに貢献しています。

<ADRC Visiting Researcher、スリランカ社会サービス局長(災害救援復興活動担当)、WFP プロジェクト調整員(難民救援再興援助プロジェクト)>

➤ アジアにおける最新災害情報

□ ベンガル湾高潮災害

バングラデシュ、ベンガル湾への高潮とモンスーンによる大雨でチッタゴン地区サンドウィップ島とノーカリ地区ハーティア島が浸水しました。9 月 3 日現在の各地区からの報告によると 21,000 世帯が被災し、その多くが避難しています。3 名が死亡し、16,000 平方メートルの田畑が被害を受けました。多数の教育機関、道路、堤防、貯水池も被害を受け、家畜への被害も深刻です。高潮による水は引き始めましたが、政府による必死の救援活動が続いています。

(9/3 バンガラ 湾 災害救援省次官 Khabiruddin Abmed 氏寄稿)

□ 東海豪雨

9 月 10 日から 12 日にかけて記録的な豪雨が日本有数の工業地帯である東海地方を襲いました。台風と停滞した秋雨前線の影響による大雨は、洪水や崖崩れを引き起こし、この地方全体で 9 人の住民が死亡、約 83,500 戸が浸水しました。

この豪雨の影響で、12 日約 20 万世帯に避難勧告が出され、新幹線が開業以来最長の 20 時間運休するなど交通網にも大きな影響が出ました。また、多くの自動車関連の工場でも部品の供給が出来ずに、製造が停止しました。

なお、14 日朝までに避難勧告はほぼ解除されています。(9/13、14 自治省消防庁、CNN、日本経済新聞など)

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： **Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)**

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 1HDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行(予定)